4790 号
2010 年 11 月 1 日

伝書鳩

全国一般労組・全国協議会
安倍川製紙労働組合
静岡市葵区田町 3-5-6
電話 054-271-7302
岩渕構内電話　340
abekawarouso@room.ne.jp

代替品の使用は現場の知恵ももらうべき

緊急対策は周知徹底を

28 日、東海工場の労使懇談会が開かれました。9 月度と 2010 年度上期の決算報告・質疑の後、伝書鳩前号でお知らせした「申し入れと質問」をもとにサイビノールの安全性や油漏れ事故に関する話し合いが持たれました。内容の要旨は以下の通りです。

会社　代替品を試験中

会社　巻き取り包装にあたり、丸当ての接着等に使用しているサイビノール GH-80 について、主成分はポリ酢酸ビニルですが、可塑剤として使用しているフタル酸ノルマルブチルが PRTR 法※の対象となっていることから代替品としてサイビノール DBA-107 を試験中です。

※ 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進の改善に関する法律。MSDS—原材料安全データシートの基礎となるもので、有毒性が疑われるような化学物質がどこからどれくらい環境中に排出されているか、廃棄物として移動しているかを把握・集計・公表することを目的に日本では 1999 年に制定された。

会社　認められる毒性はない

会社　フタル酸ノルマルブチルの毒性について、国際がん研究機構-IARC では、グループ 3（人に対する発がん性が分類できない）です。米国の環境保護庁-EPA ではクラス D に分類されています。

- 岩渕製造所での使用開始については不明だが、少なくとも 10~15 年は使用しています。2006 年から PRTR 法の対象であることから、MSDS を入手して対応を進めてきました。
- 取扱説明書はないが、MSDS は使用している職場に備えます。
- 発火性や引火性などの危険はありません。
- 皮膚に付いた際の対応としては水やお湯で洗い流すということです。
- 保管について、法的な決まりはありません。
- サイビノールがついた紙の焼却についても特別な規制はありません。
- 代替品のサイビノール DBA-107 については、旧来のものと比べて固いので、巻き取り包装では垂れなくてよいという面がある一方、ワインダーやボビン作業でコアへの接着、

ウラにつづきます⇒

継目では堅すぎて使いにくい面があります。

注意書きとの落差はなにか

組合　今日の段階で言えることとして、サイビノールの缶に貼られている「がんの恐れ」などとの違いが大きいと思うが、防腐剤など、危険な薬品は使用されていないのですか。

　代替品について、研究だけでなく、施設などと共にポンプの改善などを行えば、固い接着剤も使いやすくなるのではないか。現場の知恵ももらってはどうですか。

会社　防腐剤などは添加されていません。

組合　今日の段階ではわかりましたが、今後問題等があればまた質問します。

点検の結果他でも油漏れあり

会社油漏れ事故の後、東海工場内で、油圧設備等の点検水平展開について調査した結果は以下のとおりです。（油染み出しレベルも含めて）

岩渕製造所　87ヵ所点検　異状なし

第一製造所　11カ所点検

富士宮製造所　重油タンク3ケ所　ユニットなど10台点検

芝川製造所　油圧ユニット30カ所点検　　24か所油漏れなど

紙業関係

岩渕製造所　21カ所点検

　　　　　　4カッターテーブルリフター、自動包装、6ボビン油圧ユニット

芝川製造所　テーブルリフターなど3カ所点検　異状なし

富士宮製造所　テーブルリフターなど2カ所点検　異状なし

富士製造所　6か所点検　異状なし

油漏れ対策として、紙業のパッキング室の棚に吸着紙を置きました。

油漏れ以外でも緊急対策の活用を

組合　組合は紙業の対策はもちろん、工場全体として、対策することを求めています。夜間、どこで油漏れが起こっても対応できること、工場内数箇所に、運び出しやすい形で配備されていることが必要と考えています。

　職場の電話で44を押せば、構内放送につながるのならば、緊急時活用できるように、周知徹底すべきです。油漏れ以外、火事の場合でもそうです。

会社　今回の油漏れの様な場合はそうです。　　　　　　　　　以　上